

永平寺法要終了



廣嚴寺十八世 重興慧運洞光大和尚 十三回忌 御親香尊宿諷經 令和元年9月27日

九月二十七日早朝、於大本山永平寺、小林監院老師導師にて入祖堂一座(長谷寺二十世安澤浩祥大和尚のお位牌を承陽殿に納める法要)を厳修、引き続き尊宿諷經一座(先代十八世神田洞光大和尚十三回忌法要)を福山諦法貫首猊下導師により厳修した。参加は寺院三名、副住職親子三名、男性十四名、女性十名。法要終了後、禪師様相見の間に、一同御礼のご挨拶、記念品を頂戴し、写真にも入っていただきました。本年米寿の福山禪師様とお会いでき、皆様感謝感激の法要となりました。

▼研修三日目帰路の有磯海で偶然にも永平寺同安居と再会、長野川中島の常泉寺増田秀晃師、その師匠武禪老師と先住洞光和尚は修行時代からの親交がありました。これも十三回忌のご縁でした。

仏教講演会終了 十月十二日

丸子孝法老師の講演会終了。演題は「出会いに学ぶ」、台風の影響もあり八十名ほどの参加でした。胎内市曹洞宗寺院では毎年著名な講師をお呼びし、仏の教えを聞く機会を設けています。令和二年の仏教講演会は十月十一日午後一時半より会場広嚴寺で開催されます。講師は会津八一、そして新潟ともご縁の深い、世界遺産に登録されている奈良県斑鳩町法隆寺の管長大野玄妙老師を予定しています。

■訃報

善福寺二十世細野忠行老師、四大不調入院加療中遷化されました。(村上市瀬波中町) 令和元年九月二日寂、世寿七十六歳。十一月十七日本葬儀が善福寺様で執り行われる。

第十五回三遊亭鳳楽独演会終了

十月六日(日曜)午後五時から本堂で開催されました。演目は「蒞蕪問答」「夢金」。来場者三百名。来年は十月四日です。

太總寺退董式・晋山結制式

令和二年五月三十(三十一)日 林啓昭師の引退式及び啓法師の住職任命式典が挙行される。

長谷寺先住七回忌・晋山結制式

令和三年五月二十二(二十三)日 先住安澤浩祥師の七回忌及び尚永師の住職任命式典が挙行される。

□梅花日より

年月いつか重ね来て 遠くなり たるみ親達 いかで忘れんみ教 えの きびしき声と笑顔をば

報恩供養御和讃

先住神田洞光大和尚も遷化して早十三年、「光陰矢のごとし」と言うけれどあつと言う間でした。過ぎゆく時の流れは誰にも止められません。最近特に一日が早い。今年もあと二ヶ月、一年もあつと言う間、自分の人生も終盤差し掛かりました。師匠に少しでも近づくように生きたいものです。

▽当寺副住職(神田孝純)

九月二十六日夫婦で長女も連れて永平寺門前に新しくできた宿坊「柏樹關」に泊まり、翌早朝に永平寺法堂での先住神田洞光大和尚の十三回忌にお参りした。長女は小さいながらも初めてみる永平寺の光景に目を輝かせていた。

▽千眼寺(神田秀孝・住職)

村上市平林・十八教区 十月四日末寺である村上市福田應菴寺二十六世住職・稲垣了禪老師(令和元年八月十八日遷化)の本葬儀が五仏事で修行された。千眼寺住職は本寺として秉炬師(導師)を勤めた。

▽雲泉寺(神田恭真・副住職)

関川村土沢・十八教区 十月中に住職任命申請書(住職になるための届出)を新潟県第四宗務所経由で曹洞宗宗務庁に提出した。十月より檀家各家に晋山結制式の趣意書を配布、その後、各家に寄付のお願いに廻る。晋山結制式(住職になるための法要儀式)は檀信徒各位のご寄付ご協力により、近隣ご寺院五十名の随喜で、令和三年十月十六、十七日に挙行される。